

元気な地域づくり 活動報告会

平成21年12月17日（木）13:30～16:30

横浜市健康福祉総合センター 4階ホール

事例発表

地 区 旭区 旭北地区

テーマ 「誰もが住み続けたいふる里づくりをめざして」

発表者 星野 耿(あきら) さん (旭北地区連合自治会長)
野口 雪江 さん (旭北地区子育て支援委員会理事)
小澤 美津枝 さん (旭北地区社会福祉協議会副会長)

星野 こんにちは。旭北地区連合自治会の星野でございます。

もう諸先輩方がずっと今まで報告されましたけれども、非常にまちづくりについては皆さん一生懸命おやりになっている。私どもも同じようなことをやっております。

旭北地区といっても、ちょっと皆さん方ピンとこないと思います。かの有名なズーラシア、御存じですよ。これが私どものエリアに入っております。それから、県の「四季の森公園」、これもエリア内にあります。ですから、非常に町が大きいんですね。そして調整区域の多いところ。老人ホームも9つあります。これが私どもの地域です。駅は相鉄線の鶴ヶ峰駅、ここから行くんですね。

この地域は大体、昭和40年ごろから地域が開発されました。大手の住宅地域で、団地が開発されたために、非常にいい町並が出来上がりました。40年ごろ造るときには、この地域には50所帯しか住民がいらっしゃらなかったという町でございます。ですから、昔の人と引越してきた人の割合が、うまい具合に組み合わされている所です。

今、人口は1万9,000、世帯数は9,000、地域の高齢化率は22パーセントということで、旭区は23パーセントですから、1パーセントばかりちょっと低いんですね。それは我々一生懸命、子どもたちを何とかこの地域で産み育ててもらおうという運動を起こしております。これを言い出すと長くなりますので、後ほど民生委員のほうから報告させます。

私どもの地域では平成15年4月から「都会の中のふるさとづくり」、「防犯防災対策の進んだまちづくり」、「安心して子育てができるまちづくり」、「地域全体が支え合えるまちづくり」という4つのスローガンを掲げました。今で言うマニフェストですね。

この旭北のふるさとづくりをどういうふうに行っていくのかということで、上白根コミュニティハウス、上白根地域ケアプラザ、ふるさと事業拠点、ふれあいの郷、ふれあいの場、上白根ふるさと公園、中掘川のプロムナードというような社会資源がございます。

それで、子育て事業、高齢者・障がい者の事業、防犯防災活動、多世代交流というふう

に、これは中掘川でたまたま金魚とドジョウを放流しましてね、お祭りでちょっとやった写真でございます。子どもたちが泥んこになってやりました。今日いらっしゃる山路先生と一緒に中掘川で作ったんですが、ちょっと作り方がミスったかなというようなところがありまして、これから下流が出来上がりますので、そのときにひとつ色々我々の要望について作っていただければと考えております。

旭北地区では、ふるさとづくり拠点として今年の5月に空き店舗を活用して拠点を作りました。私どもの連合自治会は、連合の会館を持ってないんですね。そのためどうしたらいいかということで、色々やっておりました。後ほど出てきます上白根コミュニティハウスというのも、これは地域の地主さんが「あんたたちがそういう活動をするなら、土地を寄附してあげるよ」と言って、2,000㎡の土地を寄附していただきました。これを横浜市に寄附をいたしまして、そこにコミュニティハウスを作っていただいた。

ところが、これを我々が運営できるのかなと思ったら、簡単に言うと指定管理者という制度が入りまして、なかなか我々の自由にならないんですね。そこでもともと「やっぱり（連合の）事務所が欲しいね」ということだったので、この拠点を作り上げたということです。これからこの中については、私どもの子育て支援委員会の野口さんから順次報告させていただきます。ありがとうございました。

野口 これから子育て支援事業を発表いたします。地域ぐるみの子育てを進めるに当たって、地域で生まれ育った子どもたちが大人になって地域に戻り、子育てをし、親の介護が続けられるまちづくりを進めます。

平成12年、地区社会福祉協議会が子育て支援運営委員会A2ラインを立ち上げ、メンバーが中学校など2か所で月1回、未就学児の親子を対象に、親子で遊ぼう会などの子育て支援活動をボランティアで開催してきました。

子育て支援事業を一層充実させるため、地域の子育て世代の居場所、交流拠点として、今年5月にオープンしたふるさとづくり事業活動拠点に、「親子サロンメダカ」を6月に開設いたしました。開設日は週4回、月・火・木・金、開設時間は午前10時から午後4時、対象は0歳から3歳児までの幼児と親、会費は月額500円、毎月第3水曜日は、区の赤ちゃん教室を開催しております。

親子サロンメダカの活動ですが、幼児が安心して遊べ、親子が気軽に集い、親同士がゆっくりゆったりとくつろいで、子育ての情報交換を行っています。

また、母親同士のおしゃべりの場のほかに、ボランティアによる、母親にとってくつろぎの場づくりなどの活動を行っています。以上です。

小澤 旭北地区の小澤でございます。高齢者・障がい者支援事業について発表させていただきます。

旭北地区では、高齢者・障がい者が安全・安心・快適に暮らせる地域づくりを進めるため、20年度に2つの取組を展開しました。

1つは、坂の多い旭北地区で、高齢者にとって外出を妨げていることは何か、というハード面での検証、2つ目に、一戸建て住宅が中心の旭北地区で、一人暮らしの高齢者や障がい者が安心・安全な暮らしをどのようにつくり上げるかというソフト面での取組です。

取組を進めるため、地区内の全戸へのアンケート調査を実施しました。調査結果を基に、

4つのブロックで座談会やワークショップを開催して、課題について話し合いました。本年4月には課題解決を図るため、自治会役員、民生委員、友愛活動推進員による、旭北連合自治会まちぐるみ福祉推進会議を立ち上げました。

まちぐるみ福祉推進会議には、テーマごとに3つの分科会を設置して、課題解決のための取組を進めています。第1分科会では災害時要援護者支援体制づくり、第2分科会では一人暮らし高齢者の見守り・支援体制づくり、第3分科会では高齢者の引きこもり予防・活動の場づくりに取り組んでいます。

まちぐるみ福祉推進会議は、3分科会による活動の一環として折紙細工教室と講座を開催しています。折紙細工教室はどなたでも気軽に参加していただだけ、引きこもり予防にもなります。講座は主に地域の皆さんの出会いと交流を目的に、横浜港の客船の歴史をテーマに開催しました。50人の参加者が楽しい一時を過ごしました。

続いて防犯・防災活動を発表いたします。旭北地区では、防犯・防災に強いまちづくりを目指して、5月に開設したふるさとづくり事業拠点に、地域の防犯防災活動拠点として、安心・安全ステーションを設置しました。振り込め詐欺をはじめとする生活安全相談を実施するほか、災害時には地域の災害情報拠点、安全安心カードの情報拠点として活用するなど、地域の防犯・防災活動の充実を図っています。

防犯パトロールや児童の登下校の見守り、随時、各自治会ごとに実施しています。毎月1日と10日には、地域の人たちが安心・安全ステーション民間交番に集まって、4方面に分かれて地域巡回防犯パトロールを実施しています。

地域住民の防犯意識の高揚を図るため、旭区役所、旭警察と共催で年2回、啓発防犯総決起集会を開催しています。5月には安心・安全ステーション民間交番開設を記念して、施設前の広場で400人以上の住民の参加により、連合防犯総決起集会を開催し、地区内をパトロールいたしました。以上でございます。

星野 21年3月のコミュニティハウスの開所に合わせて、隣接して上白根ふるさと公園ができました。これも土地を寄附していただいたものです。ふるさと公園っていいんですが、当地区では白根表公園とか裏公園とか、我々にはなじみのない言葉が出てまいりましたんで、「ふるさと公園にしたらどうだ」ということで、役所のほうでも気持ちよく承諾をしていただきました。

いずれにしても我々はふるさとまちづくりを進めてまいります。時間がございませんので簡単にこちらで終わらせていただいて、御勘弁願いたいと思いますが、スライドだけちょっと見ていただきます。

これは、昔懐かしいポンプですね。これも無理やり付けていただいたんです。非常に協力していただきました。子どもたち、これを「何だろう」というんで一生懸命です。付いて喜んでおりました。

これは中掘川って本当に汚い川だったんですが、今回、下水道が完成しまして、こういうふうに造り上げたんですね。これは中掘川とふるさと公園の愛護会の人たちが一生懸命やっております。

これはふるさと祭りということで、社協が毎年、学校でこういう展示会をやってたんですが、学校ではなかなかやりにくいと。まあ、コミュニティハウスが出来上がりましたん

で、そこで7月にこの会をやりました。

それから、その前のふるさと公園でお祭りをやりました。先ほどもちょっと出ましたけれども、ドジョウを放したり、金魚を放して金魚すくいを子どもたちにしてもらいました。金魚すくいというのはおけの中でやるもんだと、みんな思ってたんですね。それを川の中でやらせたもんですから、子どもたちは大喜びで、泥んこになってやりました。

こんなことで我々は都会の中のふるさとづくり、それから防犯・防災対策の進んだまちづくりに取り組んでおります。

今、一番課題になるのは、都会の中のふるさとづくり、これはふるさとのお祭りをどうしようかということです。

防犯・防災については、これはもう活動委員会が出来上がっておりますので、この活動委員会が一生懸命やってくれております。それから、先ほど報告のありました安心して子育て、これも地域で子育て支援委員会、A2ラインという組織を作って、お母さん方に非常にやっていただいております。

それから、今後の課題としては、地域で支え合いをどうしていくか、これを具体的に進めてまいります。ありがとうございました。